

2023年7月下旬配本予定

戦禍の際で、パンを焼く

若尾儀武 著

四六判・並製 / 96頁 / 定価 2,200円+税
ISBN978-4-908568-38-1 C0092 ¥2200E

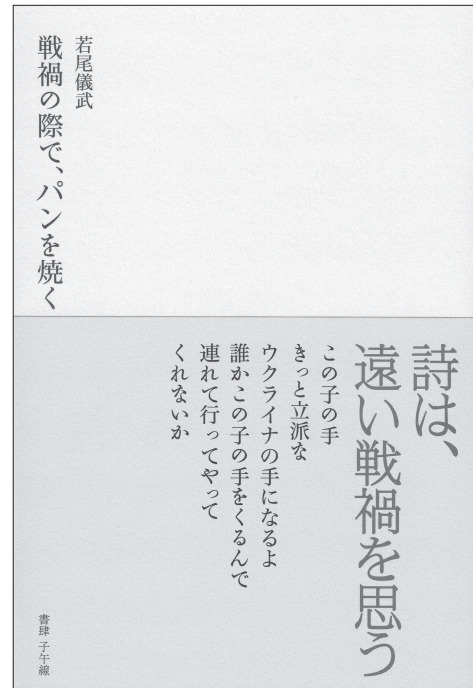
詩は、遠い戦禍を思う

この子の手きつと立派なウクライナの手になるよ
誰かこの子の手をくるんで連れて行ってやってくれないか
装幀=稲川方人

若尾儀武 (わかお・よしたけ)

1946年、奈良県大和郡山市の農村部に生まれる。
静岡県大学人文学部卒。
第一詩集『流れもせんで、在るだけの川』(ふらんす堂、2014年)
で第24回丸山豊記念現代詩賞受賞。
第二詩集に『枇杷の葉風土記』(書肆子午線、2018年)がある。

私の考えの底には、ひとやものやことは、それらが生まれた場にあってこそ最も美しい佇まいをみせるという思いが根強くあります。[...] 今、ウクライナでは不条理極まりない力によって「場」が蹂躪され、「生」と「場」が引き裂かれようとしています。この事実は、私にとって我がことのように耐えがたいことです。本詩集を上梓したのは、直接的には何もできない私という人間が、せめて遠くからでも言葉を溜めて銃口の暴力に抗いたかったからです。(「覚書」より)



▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX 03-3721-1922

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名 (番線印)

書肆子午線 新刊

info@shoshi-shigosen.co.jp

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

戦禍の際で、パンを焼く

ISBN978-4-908568-38-1 C0092

四六判・並製 / 96頁 / 定価=本体 2,200円+税

ご担当

様

冊